

令和7年度 戸坂城山地区（学区）地域運営委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ LMOオリジナルジャンパーを製作し、地域行事等に参加して認知度を高めた。
・ HPを一新し、その他にためまっぷや Instagram を導入して紙媒体以外での情報発信ツールを拡充した。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	あかさかまつり	(3)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月15日	
(2) 実施場所	広島市立戸坂城山小学校	
(3) 参加者数	約500人	
(4) 主催団体	団体名 あかさかまつり実行委員会 戸坂しろやまLMO運営委員会	
4 取組内容	・ 学校から地域団体へ呼びかけをし、12団体・14ブースが参加。授業参観後に開催し、各団体の催しを通して、こども・保護者を中心とした参加者と、地域の人たちとの交流を深めた。(多世代交流) ・ 学校で開催するこどもを主体としたイベントのため、PTAが事前に前売りしていた販売券以外での金銭のやりとりはなし。5・6学年のお手伝いボランティアもあり、高学年の子どもたちはスタッフとしても参加してくれた。(担い手づくり) ・ 「へさまろ」(着ぐるみ)も参加し、ケンハモ隊の演奏で一緒に踊ったり、ともいきネットのブースで参加賞の「へさまろステッカー」を配付。(地域の魅力)	

【参加団体・内容詳細】

参加団体	内容
戸坂城山体育協会	モルック
消防団	消防車展示
児童館・母親クラブ	昔遊び
おやじの会	くつとぼし
ケンハモ隊	開演ミニコンサート
戸坂城山青少協	わたがしづくり体験
P T Aカフェ	セルフコーヒー
P T A弁当販売	弁当販売（前売りのみ）
女性会	フラワーアレンジメント
消防団紙芝居	紙芝居
ともいきネット	展示・体験コーナー（車椅子体験、高齢者模擬体験、妊婦体験、新生児ふれあい、ありがとうの木、スライドショー、「へさまろステッカー」・「ためまっぷ」チラシ配付）
P T Aアルクエスト	アルクエスト（謎解きウォーキング）
戸坂公民館	どんぐりパチンコ・竹弓、「へさまろ」（着ぐるみ）
戸坂しろやまLMO	運営補助

5 目的・効果

（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。）

(1) 目的

時代の流れとともに人と人との関わりが希薄になり、コロナ禍で更に拍車がかかり、地域からも子どもたちや保護者の顔が分からないとの声が聞かれるほどだったが、コロナ前のP T Aまつり（現あかさかまつり）の状況に近づけることで、子ども、保護者、地域の人たちと交流する場を提供する。

(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）

- ・ 普段、地域事業で無人の学校へ行くことはあっても、子どもたちがいる日に学校へ行くことが少ない地域の方々にも、**こ**どもたちや保護者、先生方を見て、話してもらうことで学校の様子を知り、学校運営や**こ**どもたちの見守り活動へ協力しやすい状況を作れた。
- ・ こどもたちに、自分たちが暮らす地域にどんな人たちがいるのかを知ってもらいながら、各ブースで体験・お手伝いボランティアとして参加することで、交流することの楽しさ、地域の主催イベントを作り上げることの楽しさを知ってもらえた。

1 事業名	戸坂しろやま LMO 広報活動	(3) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 9 月 2 4 日 ～ 令和 8 年度 3 月 3 1 日	
(2) 実施場所	戸坂城山小学校区	
(3) 参加者数	5 7 0 0 人	
(4) 主催団体	団体名 戸坂しろやま LMO 運営委員会	
4 取組内容	既存の学区社協のホームページに戸坂城山 LMO 運営委員会のページを加えて「城山 WEB」と名称を変更し、全住民への地域事業の周知、参加の促進、実施内容の報告等を行える環境を整える。 また、戸坂学区と共同でためまっぷを導入し、こむねっと以外の媒体を使用することで、地域への情報発信を拡充する。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	町内会非加入世帯が増え、LMO 事業を含む地域行事の周知が難しくなっているため、できる限り多くの住民に地域のことを知ってもらう。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	・ 掲示板への張り出しの他に、携帯アプリなど多種多様な情報発信方法を取り入れることで、多世代への情報提供や周知ができた。若い世代の参加を促し、担い手不足の解消を図る。 ・ らくらくひろばなど、掲載後参加者が増えた。	

1 事業名	らくらく広場	(3)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月24日 ～ 令和8年度3月31日	
(3) 実施場所	戸坂城山小学校区	
(4) 参加者数	100 人	
(5) 主催団体	団体名 らくらく広場実行委員会 戸坂しろやまLMO運営委員会	
4 取組内容	月1回程度、近隣の大学生にボランティアとして参加してもらい、宿題のお手伝いや季節ごとのイベントを企画開催。スタッフが作ったカレーライスを無料で提供し、参加者の小学生と高齢者と交流をしながら食事をする。広報方法として、チラシを作成して戸坂城山小学校を中心に配付。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	孤食やそれぞれの家庭が抱える問題を背景に、こどもたちだけでなく、仕事や子育てに追われ他人とのつながりが希薄になりがちな保護者、独居の高齢者など、様々な世代の人が参加できる多世代交流の場として実施する。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	温かい食事だけでなく、こども同士、親同士の交流やボランティアの学生、高齢者など世代を超えたつながりが持て、行ける場所があることで、それぞれに「居場所」を提供できた。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	なし		